

■平成 25 年度合同保全作業の報告について

平成 25 年度の朝日連峰保全協議会 合同保全作業を 8 月 31 日 (土) ~9 月 1 日 (日)、朝日連峰 古寺 鉱泉ルート 三沢清水下部 (標高約 1,300m) にて、実施しました。

今年度の合同保全作業地は、5 月 28 日 (火) 開催の第 5 回会合の際に「大朝日岳周辺」での実施が決定されていましたが、7 月 27 日 (土) ~28 日 (日) に幹事らと事前調査を行い、検討した結果、7 月の豪雨により登山道に大きな侵食 (最大で人丈程) が生じ、保全作業の緊急性の高い「三沢清水下部」に変更となりました。これまでは、三方境や金玉水、銀玉水等の主稜線周辺で合同保全作業を実施してきましたが、樹林帯での合同保全作業は初めてとなりました。

【実施スケジュール】

●8 月 31 日 (土) 天候: 曇り 参加者 32 名 (13 団体)

7:00 古寺休養緑地施設集合

挨拶、スケジュール等の確認、班編制、資材・工具配分

7:25 古寺鉱泉口より入山

10:25 三沢清水着

現地作業 (途中、休憩昼食)

14:00 作業終了、下山

15:55 古寺鉱泉口着

16:05 古寺休養緑地施設着

清水原研修センターへ移動【泊】

※台風通過に伴う天候悪化が予想されたため、宿泊場所は同センターへ変更となりました。

懇親会



【渋谷代表と花山統括リーダーの挨拶】

●9 月 1 日 (日) 天候: 曇り 参加者 26 名 (11 団体)

6:00 清水原研修センター発

6:30 古寺鉱泉口より入山

9:15 三沢清水着

現地作業 (途中、休憩昼食)

11:20 作業終了、下山

13:10 古寺鉱泉口着

13:30 古寺休養緑地施設

作業の振り返り、解散



【作業振り返りの様子】

【作業内容】

今回の作業では、三沢清水下部の大きな侵食部を3班に分けて作業を実施しました。

主な作業内容として、現地の枯損木やササ、当日荷上げた資材（ヤシ製土のう袋・ネット・繊維）、小杭等を組み合わせて、侵食部に連続した土留工を施工しました。複数の土留を連続して設置することにより、登山道に集まって流れ出る水の流速を落とすとともに土砂の流出を防ぎ、今以上に侵食が進行しないようにします。また、枯損木やササ束等を利用して登山道外に排水する排水工や、土のうで歩行路の段差を改善する作業、流路と歩行路を分ける作業等も行いました。



【登山道の侵食の様子（7/28 事前調査時）】



【左同箇所の作業後（樹枝、ヤシ製ネット等による土留工）】



【ヤシ繊維、土のう、樹枝等による土留作業の様子】



【←土のう、ササ束等による土留工】



【↑作業後の集合写真】

今回の作業には、当会代表の渋谷氏（西川山岳会）に全体の取りまとめ、幹事の花山氏（朝日山岳会）に統括リーダーとして作業の指揮監督等、子細に渡ってご尽力いただきました。また、大江山岳会の皆さまには宿泊場所の手配等、臨機応変にご対応いただきました。作業の二日間、台風の影響が心配されましたが、作業中はほぼ雨に当たることなく、予定していた作業を実施することができました。作業に関わっていただいた朝日連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、地域関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

なお、来春5月開催予定の第6回会合については、詳細が決定次第、会員各位にご案内を通知する予定です。よろしくお願いたします。

【参考ホームページ】

・ 環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料

（朝日連峰保全協議会の会則やニュースレター等）

<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>

・ 東北地区アクティブレジャー日記

<http://tohoku.env.go.jp/blog/>

【発行者】

朝日連峰保全協議会（事務局）羽黒自然保護官事務所（つげ 柘植、しろがね 白銀）

〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777・080-2801-0648 FAX : 0235-62-4537 E-mail : RO-HAGURO@env.go.jp